

●募集期間：2020年10月1日～12月25日



生きづらさを抱えて苦しんでいる人の  
社会参加を応援していて、  
積極的に情報公開をする団体が  
応募できます。

2020  
年度

障害者が障害者を支える助成金

# とちぎゆめ基金 助成事業募集

<助成内容>

●助成の主旨：このプログラムは、障害児者や、生きづらさを感じている人の社会参加を目指した民間ならではの事業に対して助成を行います。(現在実施中で来年継続予定の事業での応募も可能)

その結果、そうした方たちの社会参加と周囲からの理解が進み、誰もがその人らしく生きられる社会に少しでも近づいていくことを期待しています。

※前年ゆめ助成(30万円)を受けた団体も、事業の経過報告書を添えて応募できます。

●助成対象活動内容：障害がある、職場・学校になじめない、DV被害等の理由で、生きづらさを感じている方たちの、就労を含めた社会参加を支援する実践活動

●助成期間：2021年4月1日～2022年3月31日までの1年間

●助成金額、件数

(1)「とちぎゆめ基金事業助成」：1団体最高30万円×2団体(※人件費充当可)

(2)「小さなゆめ助成」：とちぎゆめ基金事業助成の選考にもれた団体の中から、奨励金として5万円を2団体に助成します。

●応募条件：とちぎコミュニティファンドのNPOデータバンクへの登録が必要です

詳しくはホームページをご覧ください URL：<http://tochicomi.org>

# とちぎゆめ基金・事業助成 〈募集要項〉

<応募について>

## ●応募資格

- (1)とちぎコミュニティ基金の NPO データバンクに登録(必須)し、団体の情報公開、NPO 全体の信用保証に積極的に協力していただける団体。
- (2)栃木県内で対象事業を行うボランティアグループ、NPO 等 (※法人格の有無問わず)  
※社会福祉法人は対象外です。

## ●応募方法

- (1)応募方法：応募申請書(所定の様式)に必要事項をご記入の上、郵送、またはメールでお送りください (メールの場合は送信後、電話でご一報ください)。
- (2)応募要項・応募申請書の入手方法  
・とちぎコミュニティ基金ホームページ ( <http://tochcomi.org> ) からダウンロード。

## ●選考方法と選考基準

- とちぎゆめ基金関係者、運営委員等からなる選考委員会で4団体を決定します。  
後日(2月下旬頃)の贈呈式では、簡単な活動の概要の発表をお願いします。
- (1)障害児者や、生きづらさを感じている方の生活や現状と課題に則した必要性の高い事業か。
  - (2)事業の効果や継続性が期待されるか。
  - (3)過去の実績等からみて実現可能性が高いかどうか。

## ●選考結果の発表

第1次選考の結果は2021年1月中旬頃、文書で連絡させていただきます。「とちぎゆめ基金事業助成」、「小さなゆめ助成」のどちらになるかは2/9に会場で決まります。

## ●問い合わせ

- ・(事務局) とちぎコミュニティ基金 (=認定 NPO 法人 とちぎボランティアネットワーク)  
宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル 3F  
電話 028-622-0021 FAX028-623-6036 Eメール [tvnet1995@ybb.ne.jp](mailto:tvnet1995@ybb.ne.jp)
- ・とちぎボランティア NPO センター ぽ・ぽ・ら (宇都宮市昭和 2-2-7)  
電話 028-623-3455 FAX028-623-3465 Eメール [popola@tochigi-vnpo.net](mailto:popola@tochigi-vnpo.net)
- ・宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ (宇都宮市元今泉 5-9-7)  
電話 028-661-2778 FAX028-689-2731 Eメール [info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org)
- ・とちぎ市民活動推進センターくらら。(栃木県栃木市境町 19-3 駅前庁舎 1F)  
電話 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132 Eメール [kurara-tochigi@cc9.ne.jp](mailto:kurara-tochigi@cc9.ne.jp)
- ・真岡市市民活動推進センター コラボレーレもおか (真岡市田町 1321-1 スポーツ交流館内)  
電話 0285-84-0002 FAX0285-84-7041 Eメール [katsudo@city.moka.tochigi.jp](mailto:katsudo@city.moka.tochigi.jp)



応募要項は HP からダウンロード▲

## ●とちぎゆめ基金の原資について●

NPO 法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ(高根沢)では、ダイドードリンコ(株)と業務提携して、ジュースの自動販売機の缶の詰めかえ作業を障害者団体に委託することで賃金を発生させる障害者の仕事づくりを行っています。この自動販売機の売上の中から1本につき2円(1円は栃木県社会福祉協議会、もう1円は認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク)を「障害者労働機会づくり支援基金」として1999年から拠出しています。そのうちのとちぎボランティアネットワークへの拠出分がこの「とちぎゆめ基金」の原資です。とちぎゆめ基金は“障害者自身が他の障害者を支援する”試みです。この助け合いの輪が栃木県内に広がることを願っています。